

# 商船同志會教習所設立趣意書

青報

惟ふに世界大變亂により教養せられたる一般の思想は精神界に向つて改造、革新を絶

叫要望して其の底止する所を知らざらんす。

我が帝國亦其の數に漏れず國運は空前の進展と共に改進の機運は今や天下に充満せり

此の秋に當り我が帝國海運界未嘗有の進歩を遂げ、英米と海上に其の脚を伸ばんとするに至れり。

従つて吾々海員も亦世界的となり、其の品性、智識、技能に於て優秀なるを要求する

の聲日一日と急なるに際し、海員不足の弊は至る所にその深刻さを加ふるに至れり。

唯歲我が商船會司厨部員中有志相謀り加藤吉兵左衛門會長として商船同志會を組織し

會員相互通報及互助、修養に努め、ありしが今回司厨長全部之に加名し進んで

は本社と相提携して其の大方針の下に活動して社運の隆盛を計り又國家海運政策を設

議し退ては會員の休養、親睦、互助、救濟、修養、及後進の教育品性の向上を期せん

て茲に一大教習所を開策するに至れり。

然れども本會は創立後日尚ほ浅く資金に乏しく吾人等の金額を完備せんとするもの

意に任かせず金財の一部を發表し難算概要書を作製し且つ發起人名を記し大方諸

衆の御賛助を仰がんとする。

大正九年二月二十五日

## 現商船同志會擴張計劃副書

一金四萬五千圓也

教習所及休養所建築費及電話二個買入豫算

一金四萬圓也

内 譯

一金五干圓也

電話二個買入費（事務所、休養所二

此金額調達方法

普通會員即チ料理人及給仕ノ各員ヨリ建築費トシテ一名拾圓宛據出シ其數一千

一金五干圓也

但シ六十坪ノ二階建（西洋式上部ヲ軍隊式様ニ變換約七十個ヲ備付下部ニ教

築ス

一金五干圓也

但シ六千圓ノ会費金當回トシテ八十名分

一金參萬圓也

但シ特別會員會費一ヶ年金參萬圓トシテ八十名分

計金參萬四千八百八拾圓也

## 支 出 豫 算

### 商船同志會今後收支計算概要（年度）

一金壹萬貳千圓也

但シ會員一ヶ年ノ會費金當回一千名分

一金貳千八百八拾圓也

計金壹萬四千八百八拾圓也

一金七百五十圓也  
右ハ會員死亡者ニ對シ弔慰料トシテ一名金五拾圓宛據呈ノ事（千分ノ十五ノ割  
但シ二ヶ年以上會員ノ義務ヲ履行シタル者ニシテ他ハ本規定ノ半額トス）

一金壹百圓也

但シ會員二箇月火災ニ罹りタル場合其見舞金トシテ金五拾圓也贈呈ノ事

一金參百圓也

右ハ會員ノ父母及妻死亡シタル時ハ香典料トシテ入籍者ニ限リ金參圓也贈呈スル事

一金六百圓也

但シ二ヶ年以上會員ノ義務ヲ履行シタル場合其見舞金トシテ金五拾圓トス（一千分ノ百割強）

一金七百圓也

但シ二ヶ年以上會員ノ義務ヲ履行シタル場合其見舞金トシテ金五拾圓トス（一千分ノ四十ノ割）

## 設立發起人

（順序不同）

井 方 孟 房 殿

前 川 俊 太 殿

鳥 取 孙 左 門 殿

高 山 道 五 郎 殿

加 藤 長 平 殿

石 田 虎 十 殿

小 澤 舜 廉 殿

濱 谷 仁 三 郎 殿

江 阪 九 一 郎 殿

甘 濱 庸 造 殿

井 邊 義 楠 殿

山 田 菲 松 殿

小 須 田 利 忠 殿

高 藤 秋 之 助 殿

片 山 富 藏 殿

夏 見 象 三 郎 殿

鈴 木 信 次 郎 殿

野 中 松 太 郎 殿

丹 後 勝 行 殿

吉 川 丹 治 殿

横 山 泰 一 殿

南 野 駒 吉 殿

加 藤 藤 吉 殿

大 島 多 治 殿

小 川 伊 太 郎 殿

太 田 佐 一 郎 殿

大 島 多 治 殿

加 藤 藤 吉 殿

右建築費寄附金に付ては事務所に於て再三協議の結果前文通り決定し四月一日より

八月三十一日までの間四期に額も員より徴収する事に決す

追伸 發起人協議の結果設立委員長に加藤長平氏を推薦せしに同氏より承諾を得

一金七百五拾圓也

會員ニシテ十五ヶ年以上會員ノ義務ヲ果シ退職シタル場合紀念品ス（一千分ノ五ノ割）

一金五千四百圓也

事務所役員五名ノ一ヶ年分ノ俸給額（但シ事務理事一名含監生一名會計係一名事務員二名（約一名月額九拾圓ノ豫定）

一金參千圓也

建築物常掛金但シナカ年々賦ノ豫定（但シ榮町事務所家賃、常備通船料、會報費印刷費、消耗品及文房具其他一切ヲ價格武圓トス（一千分ノ百二十強ノ割）

一金參千六百圓也

事務所諸經費（但シ榮町事務所家賃、常備通船料、會報費印刷費、消耗品及文房具其他一切ヲ

一金參千五百圓也

事務所敷地料（二百五十坪ト假定シ一坪十八錢ノ割）

一金貳百四拾圓也

教習所營膳費（但シ榮町事務所家賃、常備通船料、會報費印刷費、消耗品及文房具其他一切ヲ

一金貳百七拾圓也

教習所營膳費（二百五十坪ト假定シ一坪十八錢ノ割）

一金貳千八百圓也

講師三名ノ一ヶ年分給額但シ課目ハ國語英語數學簿記及食物衛生講話（舍ム）

一金貳百四拾圓也

代表者交際費（但シ榮町事務所家賃、常備通船料、會報費印刷費、消耗品及文房具其他一切ヲ

一金貳百四拾圓也

差引金參千五百圓也（但シ年分不足ノ豫定ニ付キ左ノ方法ヲ以ツテ之レニ充ツレラ）

一金貳千五百圓也

右ハ新加入者一ヶ年百二十名ト假定シ加入料金一名金五圓也申受ク

一金四百六拾圓也

右ハ新加入者一ヶ年百二十名ト假定シ加入料金一名金五圓也申受ク